

教職員の皆様へ

教育センターだより【6号】

令和2年9月10日 発行



518-0485

三重県名張市百合が丘西5番町25番地

事務室・教育よろず相談 1F

Tel 0595-64-8801 Fax 0595-64-8802

E-mail:kyouiku-ce@city.nabari.mie.jp

minakuru01@nabari-mie.ed.jp

ホームページ <http://www.nabari-mie.ed.jp/minakuru/>

適応指導教室(さくら教室) 2F

Tel 0595-63-7830 Fax 0595-63-7830

E-mail:sakura@nabari-mie.ed.jp

学校ボランティア室 1F

Tel 0595-64-8864 Fax 0595-64-8802

充実した2学期に！

今年の夏は、新型コロナウイルスの影響で例年になく短い夏休みとなりました。教育センターでは、先生方に少しでも多く研修の機会を持っていただこうと、お盆の前後の週に12講座を開催しました。本年度は、「新学習指導要領」「ユニバーサルデザイン」「若手教員のスキルアップ」がキーワード。

参加人数は延べ366人、どの講座でも先生方が熱心に受講されていたのが印象的でした。2学期以降の実践に生かしていただき、子どもたちにとって充実した2学期になることを期待しています。

「算数」 8月6日(木)

【講師】志水 廣(愛知教育大学名誉教授)

「算数授業のユニバーサルデザイン～教材研究・授業づくりのコツ」と題して講演いただきました。自分で問題を解き、ミニ指導案の作成の仕方を学びました。今学期から実践していただいている先生も多いと思います。



「理科」 8月4日(火)

【講師】吉住 昌三・藤岡 正則(教育センター教育専門員)

ミジンコや維管束の観察、銅線でモーターをつくる体験をしました。



「実験の中で大切にすることが分かってよかった。」「疑問に思っていたことを教えていただけてよかった。」と非常に好評でした。

「小学校外国語活動・外国語科・英語教育」

8月20日(木)

【講師】高橋 美由紀(愛知教育大学外国教育講座教授)

子どもたちに話したい、言いたいと思わせる授業を展開することが大切であり、自分のことや自分の生活とつなげていくことで主体的・対話的で深い学びになっていくことを教えていただきました。



「体育実技講習会」 8月7日(金)

【講師】矢戸 幹也・長井 直己・田中 克幸(三重大学教育学部附属小学校教諭)

子どもたちの投げる力の向上にむけ、実技講習を開催しました。講習の中で、子どもたちの投力が向上するための様々な運動を経験することができました。

この講座で学んだ内容を2学期に学校で還流していただけたらと思います。



「書写」 8月6日（木）

【講師】福村 俊夫（比奈知小学校教諭）・岩森 進（名張小学校教諭）

前半は、2学期に学習する教材を実際を書く中で、指導のポイントを教えてくださいました。



後半は、消しゴムはんこを作り、自分の書に押印することで作品の見栄えがぐっと上がったように思います。ぜひ、



子どもたちにも経験させてあげて欲しいと思う内容でした。

「図工・美術」 8月20日（木）

【講師】竹田 進（錦生赤目小学校教諭）

段ボールの切り絵や針金細工などの実技を通して、小学校でよく使われる用具



の使い方を教えていただきました。また、身近にある材料で素敵な作品を作る

ことができ、指導のポイントも詳しく教えていただくこと

ができました。参加された先生からは、

「早速子どもと実践したい」とい

う嬉しい感想をいただきました。



「生徒指導・特別支援教育」

8月18日（火）

【講師】米澤 好史（和歌山大学教育学部心理学教室教授）

愛着障害と発達障害の違いから、愛着障害と発達障害のそれぞれの特徴を知り、見分け、対応を変えていくことが大切であることを学びました。「もう一度子どもとの関わりを見直そうと思った。」「教師こそ愛情を結べる。そう思えてよかった。」という感想をいただきました。



「情報教育」 8月18日（火）

【講師】井口 和幸（NTT docomo 三重支店）・田中 梨恵（NTT docomo 東海支社）

G I G A

スクール構想の早期実現に向けて、今年度も情報端末の活用講座を開催しました。



「ロイロノート」の使い方を中心に、授業で役立つ具体的な操作方法を学びました。アンケートや小テストなど、新しい機能についてもご紹介いただきました。受講されました先生方には学校で還流していただきたいと思

「幼児教育」 8月4日（火）

【講師】富田 昌平（三重大学教育学部幼児教育講座教授）

「保育所保育指針」「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教諭・保育要領」の改訂ポイントを分かりやすく教えていただきました。また、具体的な子どもや保護者の姿から何を大切にしなければならないのかを学ぶことができました。



「教育相談」 8月7日（金）

【講師】松波 美里（三重県教育委員会事務局研修企画・支援課 臨床心理相談専門員）

家庭での状況や学校での様子から、どのような関わりや手立てをとることが、その子にとってよいのかをご示唆いただきました。

参加された先生からは、「事例を元にカウンセラーの視点で教えてもらうことができ、多様な見方をすることができました。」等の声をいただきました。



ケースカンファレンス 8月7日（金）

【講師】山田 忍（臨床心理士）

今年3回目の事例検討会の後、「コロナ休校における子どものこころ」と題してご講演いただきました。

子どもへのケアとして

- ① いつもの日常が心を安定させる。
- ② 頑張りすぎている子に周りの大人が配慮する。
- ③ 子どもたちのニーズを理解し、安心して過ごせる環境づくりに努める。
- ④ 自然に話し出したことに耳を傾ける。
- ⑤ 子どもたちの自立を支援する。
- ⑥ ハイリスクの子どもには注意する。

と、言うことを学びました。まずは、「自身のケアを怠らないでおきましょう。」という言葉が印象的でした。

「なばり学」 8月17日（月）

【講師】谷戸 実（教育センター地域学校協働本部チーフコーディネーター）
門田 了三（名張市郷土資料館職員）

今年度は、名張郷土資料館、名張藤堂邸跡、オキツモ、美旗市民センター、新田用水・美旗古墳群を見学しました。門田さんや谷戸先生から、名張の歴史や伝統について詳しく教えていただきました。

「なばり学」に掲載されている場所すべてには行けませんでした。郷土資料館では実際に土器を見ることができたり、オオサンショウウオなどの生物を間近にみるすることができたりしました。また、オキツモで作られている耐熱塗料が、フライパンのコーティングから家の塗装、ロケットの発射台に使われていることを初めて知ることができました。

車中でも、門田さんや谷戸先生から名張にまつわるお話をたくさん聞かせていただくことができました。この講座をきっかけとして、色々な所を訪れ名張の良いところをたくさん知っていただき、子どもたちに伝えていただけることを期待します。



「若手教員スキルアップ研修」 9月8日（火）

【講師】但馬 淑夫（つつじが丘小学校教頭）

今年度最初の「若手教員スキルアップ研修」は、つつじが丘小学校の但馬教頭先生に「心理学に基づいた学級経営」と題してご講演いただきました。アドラー心理学の代表的な考え方から子どもの行動に対する理解について詳しく教えていただきました。



「行動」見誤らないために、「行動の前後を見る」「適切な行動と一緒に考える」「不適切な行動に注目を与えない」「適切な行動には正の注目を」と言った4つの視点で見ていくことが大切だと言うことを学びました。子どもたちを勇気づける温かい言葉のシャワーをかけられる教員でありたいと感じました。受講いただいた先生方からも前向きな感想をたくさんいただきました。

好評をいただいております、若手教員スキルアップ研修の今後の予定を紹介します。

	日程	講師	演題
第2回	9月25日（金）	亀田 真理子・羽後 和子 （名張市教育センター教育専門員・子ども発達支援センター教育専門員）	「教室で困っている子のために・・・～学習面で気になる子どもの理解と支援について～」
第3回	10月20日（火）	辻村 ゆり・竹野 弘樹 （教育センター適応指導教室相談員）	「学校に行きたくないと言われたら・・・～不登校への支援とアプローチ～」
第4回	11月10日（火）	栢森 和重 （三重大学教職大学院准教授）	「安全で安心できる学校づくり」
第5回	11月24日（火）	松田 和隆 （教育センター センター長）	「教師に求められる『課題解決能力』『豊かな人間性』とは？～海外日本人学校赴任体験で学んだこと～」

今年度行われた研修講座の様子は、DVDで貸し出していますのでお声かけください。
※「生徒指導・特別支援教育」（講師の先生からビデオ撮影の許可をいただけなかったため）、「市内フィールドワーク」は除きます。

新刊が入りました



今年、ご講演いただきました講師先生方の著書もたくさん入りました。当センターHPより蔵書の確認もできますので、気軽に借りにきてください。貸出期間は2週間となっております。ぜひ、ご活用を！